



令和6年4月 第232号

カリタス便り



あなたの「お薬手帳」、活用していますか？



そとめ薬局 大脇裕一

「お薬手帳」は処方されたお薬の名前や飲む量、飲み方、注意すること、アレルギーの経験などを記録する手帳です。

受診時や薬局で調剤を受ける際に医師や薬剤師にお見せいただくと、あなたの薬の情報を正確に伝えることができます。

以前と比べて多くの方にご利用いただけるようになりましたが、まだ十分に活用していただけてない方もいらっしゃるようです。

- 病院・薬局へ必ず持って行き、医師・薬剤師に確認してもらいましょう。
薬の重複やよくない飲み合わせを防止できます。
同じ薬による副作用の再発を防止できます。
治療方針を検討する際の役に立ちます。



- 言いたいこと、伝えたいことを書いておきましょう。
体調の変化やお薬について気になったこと、相談したいことなど。

- いつも飲んでいる市販薬・健康食品も記入しましょう。
よくない飲み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります。



- いつも携帯、いつも同じ場所に保管して
旅行先や、もしもの災害・事故・急病時に適切な処置が速やかに受けられます。
ご家族にもあなたがお薬手帳を持っていることを知らせておきましょう。

- 一冊にまとめましょう。
すべての薬を一冊に記録することが大切です。
病院・薬局ごとに分けてしまうと必要な確認ができなくなります。



眼科よりお知らせ

この度、諸般の事情により、
5月31日（金）をもちまして、眼科外来診療を終了致します。
皆様にはご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。
ご理解、ご協力のほど賜りますようよろしくお願い致します。

リハビリ室よりお知らせ

外来リハビリは制度の都合上、4月より理学療法士が行う治療に関しましては、基本的に前日までの予約制とさせていただきます。
ご予約は、受付またはリハビリスタッフに直接もしくは
お電話にてご連絡下さい。